

第8回まちづくりに関する提案

資源を活かして、町づくり

篠栗町の魅力的資源(特性)と将来性

① 若杉山(651米)を主峰に東北南三方豊かな緑の山々篠栗36峰(京都、東山36峰に倣らい、仮の名づけ)が町を抱きこむ。その中を東西に貫流する2級河川、多量な清流の清水。緑美水、水清の恵まれた自然。

② 篠栗新四国88か所霊場は日本三大新四国霊の一つで、巡霊は九月一日山口県などからあり広域的で多い。知名(町)度抜群、心身安らぎの地。

③ 国1.県2.民1の教育、研修、学術の諸施設が集積、いろいろな多くの人が集り、智と育くむ町。

④ 躍動する町立総合運動公園、九州森林スポーツフェスタ、大空に舞うパラグライダー、毎年、町の東西を従走する3つの駅伝(朝日、毎日、九州一周)、篠栗町とJR九州設定のウォーキングコースなど観光も兼ねた軽い山から最高級と競うまで多様なスポーツが展開される爽やかな町。

立地。緑、癒、智、健の自然と文化を融合させ地域価値を高めたのは町の位置、篠栗町は400年前の「福岡から3里20丁、飯塚へは3里(筑前国鏡ノ江記拾遺)」の要衝の地に、今も衰りはない。近年、大都市福岡市(人口146万)の近郊にあって、ますます利便性も高まっている。

来町者は、平成20年、福岡県全市町村の別に入込客数、多い順に篠栗町は13番、粕屋郡では1番、町の吸引力は強い。人口は平成元年以来、毎年増加が続く。減少はない。

既知の資源の再評価、眠っているような資源を起す、さらに新しい資源を創造、などによって行ってみれば、住んでみればなるような明々、住み良い町にする。それを可能にする力を篠栗町は持っている。

提案

1. 篠栗街道筋(旧道)の活力復活

400年前、黒田藩は福岡-飯塚と結ぶ篠栗街道を作り、東構口と西構口を設け、茶屋(味陣)、宿、駅、民衆で篠栗の町を作った。今でも街道を旧道と言ひ、家並は続いている。毎年、祇園祭と山笠で多数の出店、地町の人も多く、通りは活況を呈している。平日は昔町の賑わいはなく、風情もない。

平成の温まりと統一感がある通りの復活を目指す。

(1) 篠栗街道(旧道)への誘導路整備 (地図添付)

JR篠栗駅の南へ県道607号線を横断、旧道への100米(ほろ)道カラー化と両側の家の軒先を通りぬけるような森の^{園路}を造らう。

(2) 軒先アートと美しい家並みに

前記道路にT字形に接する旧道の中、東西の長さ約800米、道幅約7米の畷並みと整之軒先に書、画、工芸品など、さらには「大文化、活力など」をテーマとする公募展(新企画)への出品作品と加えて公開展示する。露天にたて置彫刻などは道の両側の有蓋水路に展示する。仙崎市の金子みすゞの詩の街中展示とイメージして。

(3) 鉢植の草花のある癒しの水路に

前記道路の北側沿う水路(長さ約700米、幅1.2米以下、路面から水底まで約0.7米、水深0.1米)の中の無蓋部分に鉢植の花菖蒲や杜若などを置く。水路上の有蓋物が撤去すれば鉢を増し、観光水路にする。
水中に 充実した

(4) 交番横の芝生広場と街中ミニミニセラピー基地に

前記水路と県道607号線に挟まれた広場(約2400平方メートル)に特に美しい由緒ある木を植える。香椿(葉春は赤く、秋は黄色)、ヒトツバダニ(ナンジャモンジャの木、対馬、久留米、国指定天然記念物)、楷の木(3.3、常緑の木、黄葉と美しい)、松2本(後時の復活)。この時の憩いの空間にする。
4x24x2

(5) 道路標識や案内板の設置と道路の愛称をつける

入込客多く、無名の小路が多い。無名で由緒ある道に愛称をつけ、わかりやすく、あかしの心の感じられる地にする。

8. 2級河川が多岐良川を魅力的に

源流の豊後川(町の69%は森林)の篠栗町、中流の躍進著しい粕屋町、河口の美しい白御影石七連アーチ式名島大橋の福岡市東区、2町1市17.8キロメートルの旅する広域の川。多岐良川は、福岡市西部を流れる室見川に比べ、岸辺も周辺環境整備はあつていようである。

環境改善と色とりどり魚、躍動する鮎が泳ぎ、水辺の室石、^{舞臺}が見られる観光の川にする。この川には、源流の篠栗町が呼びかけ、率先行動する。

3. 屋久杉と大和の大杉が共生する悠久の若杉山に - 未来の遺りの

屋久杉(小杉)と若杉山に少数、先行植樹、以後、1人1本の記念植樹で増殖。名山宮浦岳(1936米)の杉と県指定天然記念物の大杉や大和の大杉(幹廻り16.15米、樹高40米)が共生する希有神秘の名山にする。
秘

4. 屋久島町篠栗町友好協定締結

国の特別天然記念物縄文杉(25.3米)や世界遺産指定の屋久島町と篠栗町の巨大杉と観光で共通点を持っている。また昨年、23年3月、九州新幹線開通で福岡-鹿児島は近くなることを記念して友好協定を結ぶ。遠隔地であり、通信などにより情報交換、相互支援、連携で共栄を図る。まず近年、気候変動による自然災害が頻発、不安は増えている。篠栗町は急峻、多雨の屋久島町の山岳治水と学ぶ。

5. はつらつ スカイ スポツの町

(写真添付)

若杉山と並ぶ573米の山(593米)山頂の発進基地からパラグライダーが飛び立ち、大空を舞い、眼下一望、福岡市街、博多港、玄海灘などの絶景を楽しめるスカイスポーツ。現在、稲作期のため6月-10月は着陸地なく飛行不能で期間限定の有期飛行中。年中飛行可能にするため着陸地を2100米×100米の無耕作・無障害地を確保する。

'09年3月19日、パラグライダー世界大会実施基地の実績あり、着陸地の確保で、将来世界的大会開催の道と確保しておく。

飛行効果は多岐にわたる。大空を舞うパラグライダーは青少年は夢と大志をいだかせる、多方面から何と見られる特異、稀少の資源、景行11階展望室からも眺望できる。

平成22年9月28日

あてはかり、第6回は提案は除かれています。

提案は私の意見で、関係者には相談、あるいは了解を乞うてはおりません。



1995. 3. 19

ハングライダー 世界大会

米の山・山頂 発進基地あり

障多湾方面に設けむ

1995. 3. 19

ハングライダー 世界大会

米の山・山頂 発進基地が存心出し

上空へ

1995. 3. 19

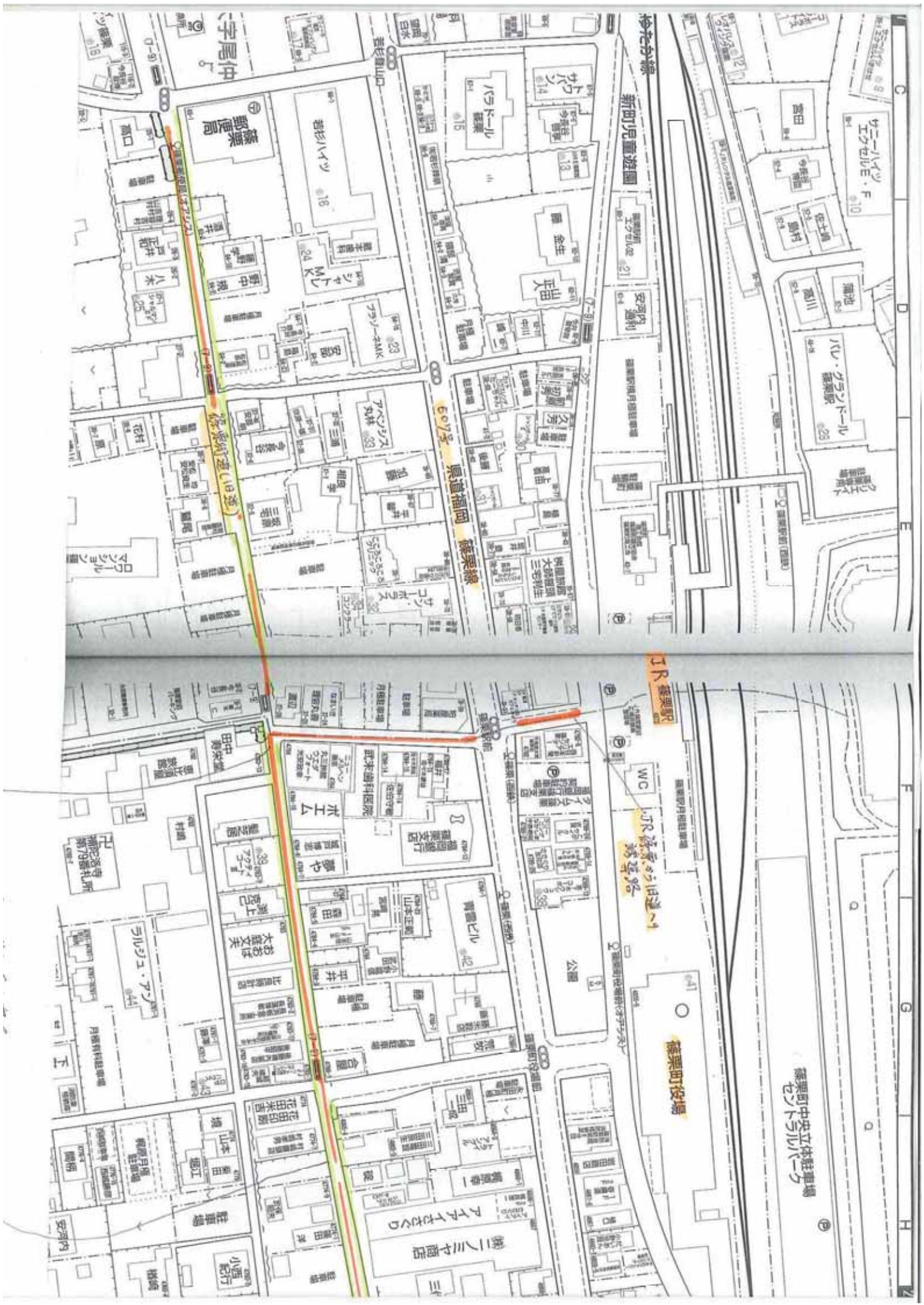
ハングライダー 世界大会

米の山・山頂 発進基地広場

1995. 3. 19

ハングライダー 世界大会

米の山・山頂 発進基地広場



栗駒中央立体駐車場
セントラルパーキング

栗駒町役場

JR伊豆箱根線

伊豆箱根道(旧道)
新道

新町児童遊園

伊豆箱根道(旧道)
607号

栗駒線
栗駒橋

宇尾仲

郵便局

伊豆箱根道(旧道)

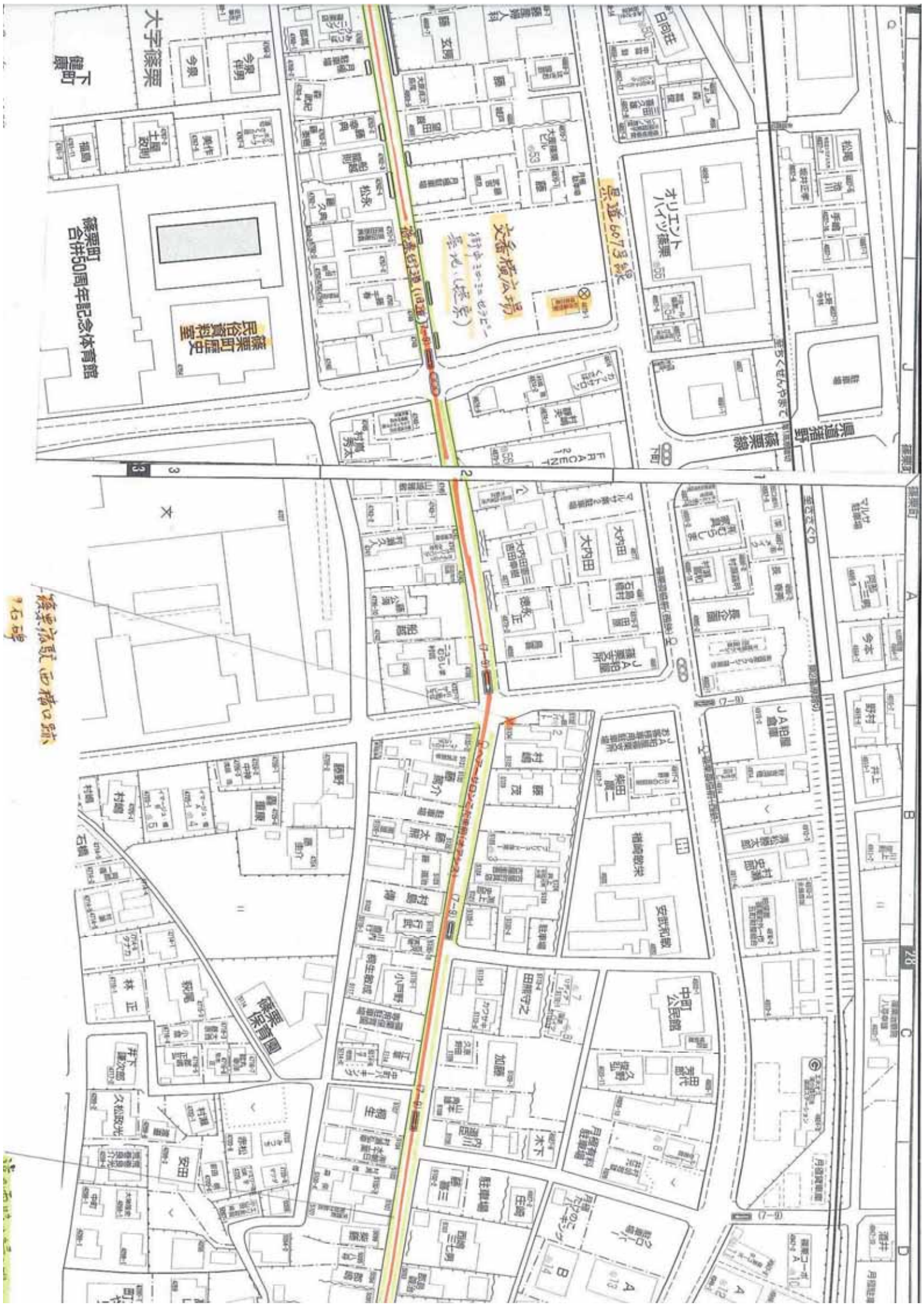
栗駒線

栗駒線

栗駒線

栗駒線

栗駒線



下健康町

大字藤栗

藤栗町
合併50周年記念体育館

藤栗町歴史民俗資料室

交番横広場
街中302号ビル1階

東道607号線

オリエンタルパレット

東道607号線

大

藤栗町歴史民俗資料室
西橋口跡

健康園

中野公民館



第8回夢アイデア応募作品

タイトル：資源を活かして、町づくり 篠栗町の魅力的資源（特性）と将来性、対象地：福岡県、分類：まち全体の計画・構想